



Boston Robotics Program

ロボティクスコース | Course No. B213

募集要項

応募締め切り：2024年9月25日(水) 17:00 (JST)

JETRO

日本貿易振興機構(ジェトロ)

INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問合せ先

01 OUTLINE | コース概要

目的

ボストン／ケンブリッジにて、米国を含む海外展開に必要な実践的な知識・スキルの向上や海外展開の戦略策定、現地コミュニティとのリレーションの構築を目指す

1	米国を含む海外展開に向けた基礎知識の習得
2	ピッチブラッシュアップ等の実践的スキルの向上
3	現地コミュニティや関係者とのリレーション構築による海外展開の準備

派遣先

米国・ボストン／ケンブリッジ

主な対象

対象企業	・ 米国を含む海外展開を目指す日系スタートアップ企業
ステージ	・ アーリー
分野	・ ロボティクス
その他	・ 海外展開における意思決定が可能な方（創業者・CXOクラス）がコースを通じて参加が可能なこと ・ ビジネスレベル以上の英語力を有すること

※渡航対象者等の応募条件の詳細は「04|対象者・応募要件」をご確認ください



02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – 全体像



1 オリエンテーション



東京ローンチ期 (15-20社)

米国を含む海外展開に向けた基礎知識の理解を目的として、ワークショップを実施
CIC Japan Deskのプログラム卒業生や参加者間のコミュニティを構築し、ネットワーキングを促進

2 国内プログラム



海外展開トレーニング期 (15-20社)

米国を含む海外展開準備の強化を目的とした、現地専門家によるカスタマイズされた1on1メンタリングおよび実践的ワークショップの実施

3 渡航プログラム



ボストン実践期 (15-20社)

米国を含む海外展開に向け、現地に於ける実践的ワークショップを実施
現地エコシステム関係者とのネットワーキングおよびデモデイの開催

4 渡航後プログラム



フォローアップ (15-20社)

個別セッションやインタラクティブなフィードバックの提供により、渡航プログラム後の海外展開のフォローアップを提供

1 オリエンテーション | 東京ローンチ期

米国を含む海外展開に向けた基礎知識の理解を目的として、ワークショップを実施
CIC Japan Deskのプログラム卒業生や参加者間のコミュニティを構築し、ネットワーキングを促進

定員 15-20社程度（各社1名まで）

日程 2024年10月24日（木）25日（金）（2日間）
ハイブリッド（現地：東京/ オンライン）

概要

• ワークショップ

- 米国を含む海外展開に向けた基礎知識の理解（市場拡大戦略、ビジネス開発など）
- ボストン／ケンブリッジにおけるロボティクス分野の概況理解
- グループ間ピッチ練習とフィードバック

• ネットワーキング

- CIC Japan Deskのプログラム卒業生によるパネルディスカッション
- 参加者間の情報共有およびコミュニティ構築の場としてのネットワーキング

2 国内プログラム | 海外展開トレーニング期

米国を含む海外展開準備の強化を目的とした、現地専門家によりカスタマイズされた1on1メンタリングおよび実践的ワークショップの実施

定員 15-20社程度（各社1名まで）

日程 2024年10月下旬～11月29日（金）
オンライン

概要

• メンタリング

- インダストリー、ビジネス開発、英語でのコミュニケーション等、参加者の目標・課題に合わせた専門家との1on1メンタリング
- ピッチの練習とフィードバック

• ワークショップ

- 米国を含む海外展開に向けたPMFの理解
- ボストン拠点の創業者との座談会の実施

3 渡航プログラム | ボストン実践期

米国を含む海外展開に向け、現地にて更なる実践的ワークショップを実施
現地エコシステム関係者とのネットワーキングおよびデモデイの開催

定員 15-20社程度（各社1名まで）

日程 2024年12月5日（木）～ 12月13日（金）
ボストン／ケンブリッジ（対面）

概要

- **ワークショップ**
 - 米国における採用活動について
 - 米国VCの視点、米国におけるロボティクス製造技術について
 - MassRobotics訪問
- **ネットワーキング・デモデイ**
 - ビジネスミーティングの実施
 - MassRoboticsのスタートアップとのネットワーキング
 - 専門家によるピッチフィードバック
 - デモデイの実施（場所：Venture Café Cambridge）

4 渡航後プログラム | フォローアップ

個別セッションやインタラクティブなフィードバックの提供により、渡航プログラム後の海外展開のフォローアップを提供

定員 15-20社程度（各社1名まで）

日程 帰国後～2025年1月10日（金）
オンライン

概要

- **インタラクティブセッション**
 - 採用活動やネットワーキング等、次のステップに向けたアイデアを共有
 - 今後のカンファレンスやGAH※プログラムなどへの参加に向けたフィードバックを提供するワークショップ/オープンディスカッション
- **個別セッション**
 - CIC Japan Deskとの20分間の個別セッション
（渡航先での商談状況の確認や渡航後ニーズへの支援、今後の海外展開等について振り返り）

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 –メンターの一例



Avihou Barkay

MBA

プレジデント兼CCO (Plus One Robotics)

テック企業幹部（ハードウェア／SaaS担当）として、ロボット工学、電子工学、3Dプリンティング、通信業界において20年以上にわたりグローバルビジネスのリードおよび規模拡大の経験をする。ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院でMBAを取得。



Jordi Albo-Canals

Ph.D.

CSO (Chief Scientific Officer／Lighthouse DIG)

ヨーロッパとアメリカのアカデミアの世界で経験を積んだ後、Lighthouse DIGのCSOに就任。感情AI、クラウド・コンピューティング・プラットフォーム、ヘルステック、エドテックに注力し、メカトロニクス、ロボティクス、オートメーション・エンジニアリングで博士号を取得。



Russell Nickerson

外部連絡調整役 (MassRobotics)

テクノロジーのビジネス化に関する専門家で、ソフトバンク・ロボティクスのPepperとNAO、三菱のMELFA、トヨタ自動車のHuman Service Robot(HSR)などに関する実務知識を保有。

CIC Japan Desk

URL: [Japan Desk | CIC](#)



CICは1999年に米国ボストンで設立した。イノベーションを通じた世界中の課題に対する“解”の導出をミッションとし、起業家やビジネスの成長に資するワークスペースやプログラムの企画・運営、強力なグローバルネットワークを提供する。これまでに北米、欧州、そしてアジアに広がったイノベーション・キャンパスは、累計約11,000の企業・組織が利用した。ジャパデスクはボストンを拠点に、日本発のイノベーションをボストンのエコシステムと繋ぐことで、効果的でスムーズな海外展開に貢献している。



累計入居企業数※： **11,000社**



CIC Japan Deskでメンタリングした時間： **1,630時間**



CIC Japan Deskで支援した企業数： **184社**



CIC Japan Deskでマッチングが成立した数： **230回**

MassRobotics

URL: [MassRobotics](https://massrobotics.org)



MassRoboticsは2015年に設立されたボストンを拠点とする最大級の非営利ロボティクスハブである。ミッションとして、ロボティクス分野のスタートアップにワークスペース、リソース、プログラムを提供し、製品開発・ビジネス化の一連のプロセスをサポートすることを掲げる。



学会、中小・大企業、グローバル企業とのリレーション

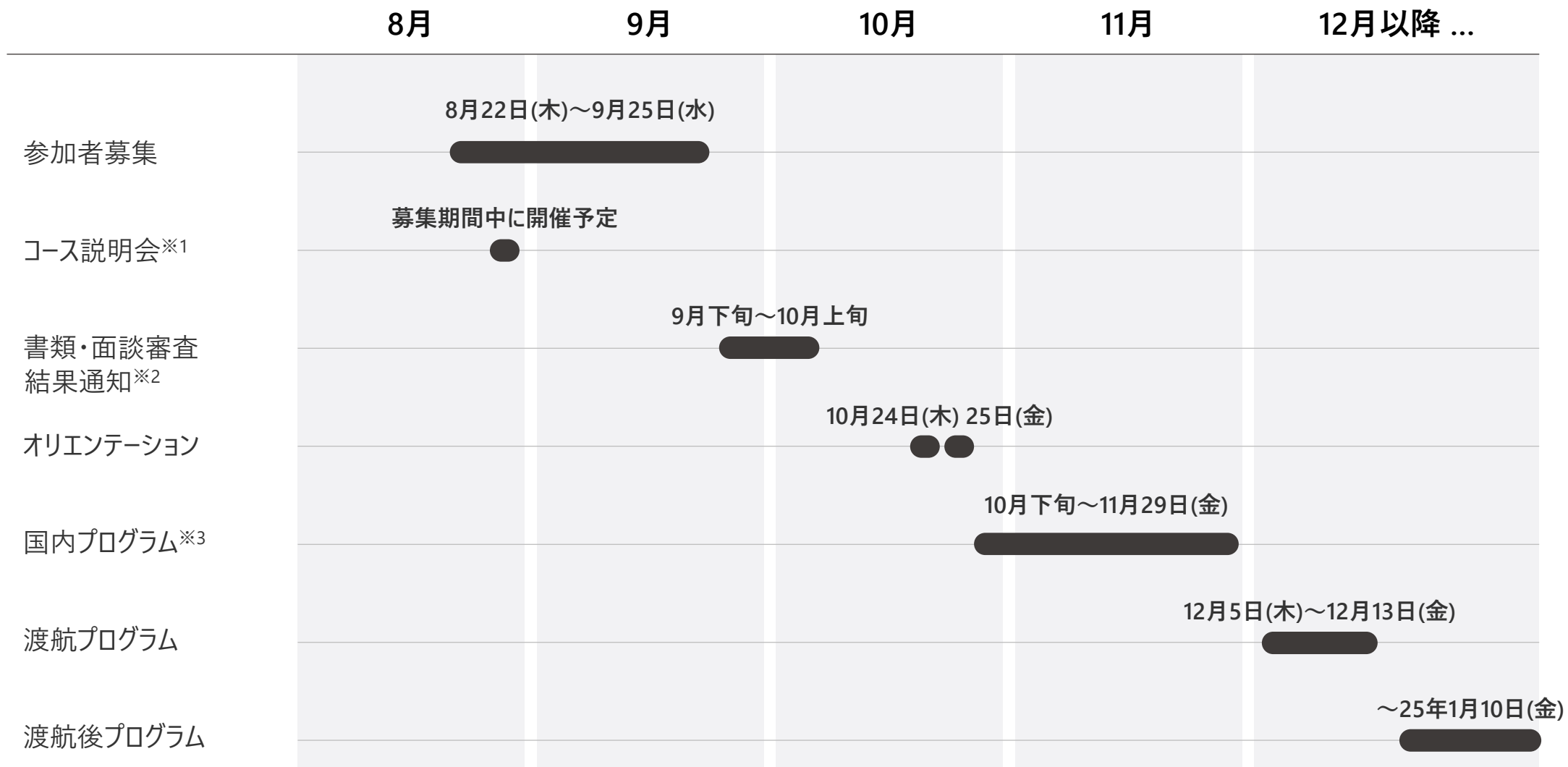


世界最大規模のロボティクスハブ



Signature Series や RoboBoston Block Party 等のイベントを長年開催

03 SCHEDULE | スケジュール



※1 CIC Japan Desk によるプログラム説明会を募集期間中に開催する予定です

※2 面談審査の日程については、後日対象者に日程調整シートをお送りします

※3 国内プログラムへの参加姿勢等を踏まえて、渡航プログラムへの参加可否を判断する場合があります

定員

- 全プログラム：15-20社程度（各社1名まで）
（オリエンテーション、国内プログラム、渡航プログラム、渡航後プログラム）

主な対象

対象企業	・ 米国を含む海外展開を目指す日系スタートアップ企業
ステージ	・ アーリー
分野	・ ロボティクス
その他	・ 海外展開における意思決定が可能な方（創業者・CXOクラス）がプログラムを通じて参加が可能なこと ・ ビジネスレベル以上の英語力を有すること

応募要件

コース参加者は以下の全ての条件を満たすこと

- ・ 日本に活動拠点のある日系スタートアップに所属するCXOクラスもしくは海外事業責任者の方
（日系スタートアップに所属する方である限り国籍は問わない）
- ・ 商談可能な英語力を有すること
- ・ 潜在パートナーに提示するプロトタイプを有すること
- ・ 参加後のアンケート等に協力いただけること
- ・ 本コースが提供するサービス（オンラインメンタリング等）に参加するための設備・環境を準備可能な方

※ J-StarXプログラムは経済産業省・JETROが連携して行うプロジェクトであり、随時、フォローアップアンケートや成長過程の調査を実施します

参加者による費用負担

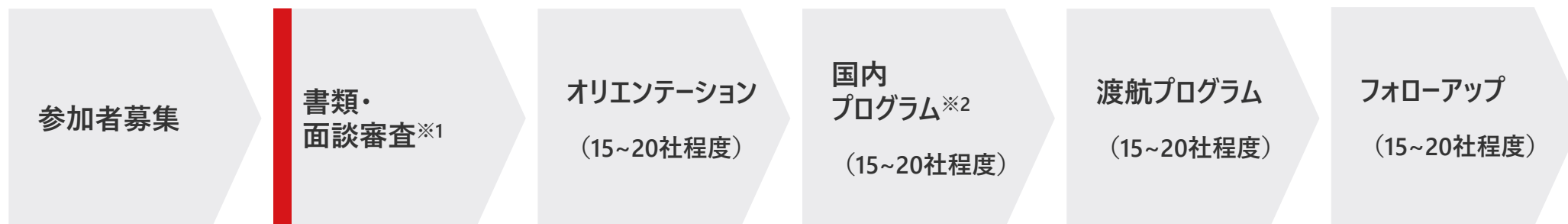
- 国内移動費
- 米国渡航費（航空券）
- 海外での移動、飲食費用、通信費、VISA代、保険費などのその他発生する費用
- その他「主催者ジェットロによる費用負担」以外のすべての費用

主催者による費用負担（現物支給）

- メンタリング等のプログラム料
- 渡航プログラム実施期間中の宿泊費

※ 上記は全てジェットロにて手配の上、支給します。参加者に上記費用を支払うものではありません

※ 円安やインフレ等の状況を鑑み、来年度以降の主催者側費用負担を縮小また廃止する可能性があります



※1 CICと10分程度の面談を実施します。面談審査の日程については、後日対象者に日程調整シートをお送りします

※2 国内プログラムへの参加姿勢等を踏まえて、渡航プログラムへの参加可否を判断する場合があります

選考基準

- ・ 招聘するメンターならびにジェトロがサポート可能であること
- ・ 本プログラムの参加によって、スケールアップが見込まれること
- ・ 製品、技術、サービスアイデアの新規性や競争優位性があること
- ・ バリュープロポジションが明確であること
- ・ ビジネスモデルの収益性が高く、持続的な成長が見込めること
- ・ 市場需要を証明するトラクションがあること
- ・ 海外展開に適したチーム構成であること
- ・ 原則、他のJ-StarX対象コースにて渡航プログラムに参加していないこと等

※本コースよりも上級者向け（レベルが高い、ミドル・レイターステージ向け等）のJ-StarX対象コースへの申し込みは可能です。重複の可否はジェトロにて判断します

応募フォーム

2024年9月5日(木) 17:00 (JST) 1次締切
2024年9月25日(水) 17:00 (JST) 2次締切

-
- 応募内容について、審査を行い、採択可否の通知を行います
 - 書類審査とあわせて面談審査も実施いたします。面談審査の日程については、後日対象者に日程調整シートをお送りします
 - 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください
 - 別途、ピッチデッキ資料（英語）の提出が必要です
（形式・方法等は次ページ以降参照）

ピッチデッキ資料の提出方法・プロセス

Step 1

資料作成

スライド（英語）作成

※原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換

Step 2

格納（アップロード）

作成したピッチデッキ資料を右に記載のリンクからアップロード

■ピッチデッキ資料の格納先は[こちら](#)

※ 上記リンクへの提出が難しい方は、J-StarX@jetro.go.jp宛にメールにてご提出ください。その場合、メールの件名は「**Boston Robotics Program_企業名_名前**」とし、本文にプログラム名、企業名、氏名を記載の上ご提出ください（名前の部分にはご自身の名前をご記載ください）

ピッチデッキ資料作成にあたっての留意点

以下の留意点が守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください

■ ピッチデッキ資料作成の留意点

- 右欄に示す記載内容を含む形でご作成ください
- 表紙は不要、**10ページ程度**でご作成ください
- ファイルは原則PowerPointで作成し、PDF形式に変換してご提出ください（ファイルサイズは10MB以下）
- ファイル名は「**Boston Robotics Program_企業名_名前.pdf**」としてください
（名前の部分にはご自身の名前をご記載ください）
- **2024年9月25日(水) 17:00（JST）まで**にご提出ください

■ ピッチデッキ資料に記載する内容

プロトタイプについて以下の4項目を必須項目としてスライドに記載してください。また、ご自身のお名前を1ページ目左上にご記載ください

1. 解決したい課題の内容
2. プロトタイプの概要（写真や図、文章を用いて）
3. 事業の拡大戦略
4. プロトタイプにおけるアピールポイント・強み

※資料は**英語**でご作成ください

※スライドのデザイン・フォーマットは問いません

1. 本コースの参加費用支援は、原則1社1名までとなります（自社負担での同行については問題ありません）
2. 必要に応じて、現地交渉先との面談などにも、メンターおよびジェトロ職員が同行する可能性があります。また、帰国後の成果把握、進捗確認への協力をお願いします
3. 本コースの選考通過後は、ジェトロ事業の紹介、成果報告のための外部公開をする場合がありますので、ご了承ください（公開内容は事前に確認を行います）
4. 原則、他のJ-StarX対象コースにて渡航プログラムに参加していないこと
※本コースよりも上級者向け（レベルが高い、ミドル・レイターステージ向け等）のJ-StarX対象コースへの申し込みは可能です。重複の可否はジェトロにて判断します

免責事項

[免責事項](#)をよくお読みの上、応募をお願いします

キャンセル規定

如何なる理由においても、渡航日程決定後のキャンセルは認められません

キャンセル料、もしくは変更料が発生する場合は自社にて負担いただきます／キャンセル料発生日：10月1日0時以降

09 CONTACT | お問い合わせ



コース名	Boston Robotics Program
実施機関	ジェトロ イノベーション部／スタートアップ課
担当者	迫田、山本
メール	J-StarX@jetro.go.jp

